

グリーン経営への取り組み

横浜冷凍(ヨコレイ)は6月に、グリーン経営を10年間継続して認証登録した事業所に贈られる「永年登録事業者表彰」を受けた。グリーン経営に関する社内担当の冷蔵事業本部冷蔵業務品質部の三浦宏之氏に話を聞いた。

グリーン経営認証取得の経緯について

☆冷蔵倉庫の屋上への太陽光発電設備設置など地球環境に配慮した事業運営を目指す中、当時品質管理の国際規格であるISO9001を一部の事業所で取得していたことから、環境認証としてISO14001の取得も検討した。

ISOは地域性や港湾型、産地型、物流型といったタイプの異なる冷蔵倉庫では、一律に取得を

目指すのが難しく、取得事業所とそうでない事業所間で「ダブルスタンダード」が生じるため、現場に混乱を生じさせると判断した。

横浜冷凍

全事業所統一的に

CO₂削減と廃棄物処理で

営推進マニュアルにサンプルがたくさん載っているが、当時は冷蔵倉庫で認証を取得している事業者が少なかったこともあり、帳票類のサンプルもなく、交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団)の担当者に確認し

大半だった。現在でも審査前には、グリーン経営の活動内容、書類、記録確認のための会議を設けているが、これがひとつの教育の場となっていると思う。

認証により得られた組

をつかみ改善する。目標を達成するには、作業効率の向上が必要であり、無駄なエネルギーを使用しないような意識が社員に根付いた。廃棄物に関しては、廃棄物処理法に基づきマニフェストによる適正処理を行う

そこでISO14001に準じる規格で、全事業所で統一的に取り組みやすいグリーン経営認証の取得を目指すことになった。

8年に九州北ブロックから



三浦 宏之 氏

認証を取得している。取得に際し、苦勞した点は

☆私は取得4年目からグリーン経営の担当を引き継いでいるが、取得時の苦勞話は聞いていない。今こそグリーン経営を進めたいと、

更新審査では、社員が審査員との質疑応答に慣れらなければならないため、予行演習も行った。審査項目の質問に対し、書類で証明し、納得してもらおうことを経験したことがない社員が

意欲が高まった。環境改善以外で得られたことは

☆ひとつの活動を行う間は、きちんとした体制を作らなければならない。現場の担当者は、審査などに立ち会う機会が多くなった。また、

ながら作り上げた。

☆体制作りを行い、目標を立て、各担当者に責任を持たせ、目標に向かって活動する。毎年1年間は、きちんとした体制を作らなければならない。現場の担当者は、審査などに立ち会う機会が多くなった。また、

意欲が高まった。環境改善以外で得られたことは

☆ひとつの活動を行う間は、きちんとした体制を作らなければならない。現場の担当者は、審査などに立ち会う機会が多くなった。また、

活動は、誰かがリーダーとして引っ張っていかなくてはならず、リーダー育成にも役立っている。

現場の担当者は、審査などに立ち会う機会が多くなった。また、

これらエネルギーの効率的な利用と廃棄物の処理のために必要だ。また、

活動は、誰かがリーダーとして引っ張っていかなくてはならず、リーダー育成にも役立っている。

現場の担当者は、審査などに立ち会う機会が多くなった。また、

これらエネルギーの効率的な利用と廃棄物の処理のために必要だ。また、

グリーン経営の大きな柱は2つ、エネルギーの効率的な利用(二酸化炭素排出量の削減)と廃棄物の適正処理。冷蔵倉庫は、電気エネルギーによって冷凍機を廻し、貨物を冷

グリーン経営認証制度は有益だと考える。

☆倉庫業におけるグリーン経営の有益性は

物流業にとってグリーン経営の有益性は

グリーン経営認証制度は有益だと考える。